

労務理論学会ニュース

労務理論学会ニュース 28 号 2010. 4. 25

〒580-8502 大阪府松原市天美東 5-4-33

阪南大学研究部研究助成課内 労務理論学会事務局
電話 072-332-1224 (内線 3714) FAX 072-336-2633

E-mail jalm@hannan-u.ac.jp

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jalm>

【目次】

1. 第 20 回全国大会（龍谷大学 深草キャンパス）開催のご案内.....	1
2. 第 20 回特別講演について.....	2
3. 会員総会開催のご案内.....	3
4. 中部・北陸部会開催のご報告.....	3
5. 会員入退会動向.....	4
6. 労務理論学会誌への投稿論文の募集.....	
学会事務局からのお知らせ.....	4

6月12日（土）・13日（日）

龍谷大学深草キャンパス

全国大会（第 20 回大会）開催！

新緑の京都に皆さんの参加を是非！



Ryukoku University
www.ryukoku.ac.jp

1. 第 20 回全国大会（龍谷大学 深草キャンパス）開催のご案内

実行委員長 三島倫八（龍谷大学）

労務理論学会会員の皆さん、元気にお仕事にご精励のことと思います。

われわれ龍谷大学の会員一同、6月12日（土）、13日（日）の第20回全国大会開催へ向けて、目下、鋭意準備に取り組んでいます。われわれは、大会プログラム委員会の了解の下、初日の「特別シンポジウム」として、今大会の統一論題「経営労務と労使関係の新局面」に呼応した、京都ならではのテーマを考えました。それは、「労働者にやさしい京都企業」であります。

京都には、バブル経済の破綻後、いわゆる「失われ

た10年」はおろか「リーマン・ショック」以後も一切首切りを行わず、しかも産休、育休など自由に取れる労務管理や労働基準法を遵守するというコンプライアンスを重視する企業がかなり存在します。余裕のある大企業がそのような労務管理施策をとるのは当然でありかつ容易ですが、今回は、困難な中敢えて、そのような課題に一貫して取り組んできた中小企業を取り上げました。われわれの関心のポイントは、打ち続く不況の中で「労働者に優しい労務管理施策はいかにして可能か」ということにあります。

講演を依頼した趣旨は「講演依頼書」に譲りますが、このようなシンポジウムを発想する契機となったのは、2002年に発足した、本学大学院経営学研究科の付置機関である京都産業学センターの活動であります。われわれは、研究科の中に京都産業学プログラムを設定して以来、産学連携の下に、京都における産業、企業、経営、企業を取ります社会特性など、あらゆる角度から京都という経営資源を分析するのみならず、そこから学ぶという姿勢で研究に取り組み、その成果を研究科の教育に反映していこうという試みを行ってきました。学部学生を対象とした、京都企業の経営者を招いての「わが社にとって京都とは」というチェーン・レクチャーもその一環であります。われわれは、このような経営者のレクチャーや産業人を招いての研究会の中から、「労働者にやさしい京都企業」という発想を得ました。われわれ一同、今夏の統

一論題と呼応した、実に時宜にかなったテーマだとひそかに自負し、期待しているところであります。

6月初旬といえば、大学から一望できる東山連邦の最南端、稻荷山が新緑に溢れ、命の息吹を感じる季節であります。大いに研究を深め、大いに歓談し旧交を温めたいものです。多くの会員の皆様の参加を心待ちにいたしております。



2. 第20回大会特別講演について

第20回全国大会に向け、大会主催校では京都という地域の「良さ」をぜひとも会員の皆様に知って戴こうという、それを特別講演・シンポジウムという内容でプログラムされました。その際に、講演者に下記の趣意をお伝えし理解と協力を求めました。その全文を掲載させていただきます。

講演依頼趣意書

バブル経済の破綻後、経済のグローバル化の進行、市場原理主義の浸透の下、企業間競争は、ますます激しさを増しています。企業間競争の激化は、打ち続く不況とも相俟って、ワーキング・プアーや格差問題、「派遣ムラ」に典型的な非正規労働者の増大、雇用不安の問題をクローズド・アップさせています。企業内では、仕事への取り組みの姿勢や努力に代わって、その実績・結果を重視する成果主義管理・能力主義管理の徹底が進行しています。すなわち、賃金原資枠を一定に保ちつつ成果・実績によって賃金を配分する、いわゆる目標管理と成果主義賃金システムは、富士通における失敗にもかかわらず、なお依然としてその導入・普及が図られています。その狙いは、従業員間の激しい競争を梃子とした動機付けの強化にあることは

明らかです。

このような状況が進行する中、「企業の社会的責任」や「仕事と家庭の両立〈ワークライフ・バランス〉」、「異なる価値観や発想、能力を有する多様な人材を活かす」ダイバーシティ・マネジメント、「人間らしく働くこと」を意味する「ディーセント・ワーク」などの問題が提起されています。このような問題を反映してか、日経新聞主催の「につけい子育て支援大賞」なる催しが開催され、179件の応募の中から先進性や実績などの審査を通じて、9社・団体が選ばれています。受賞した企業の経営者は、「子育て支援は一見コストのように見えても、社会を活性化し企業や地域の発展につながる」とか「子育て支援は企業が持続して成長するために遠いようで一番の近道と確信している」と

表明しています。(日経、2010年1月30日、朝刊)

われわれ労務理論学会は、厳しい企業環境の続く中、後者の「企業の社会的責任」や「ワークライフ・バランス」、「ディーセント・ワーク」などに代表される、いわば「人間にやさしい企業」は、いかにして可能かということに大きな関心を払っています。企業経営は決して慈善事業ではなく、きれいごとではすまないことはよく承知しています。「ワークライフ・バランス」の問題は、財界から提起された問題でもあり、上の新聞報道にもあるように、企業が真摯に取り組みつつあるということも承知しています。しかし、「・・・大賞」として表彰されるということ自体、それほど普及していないということの証明でもあります。われわれ、労務理論学会は、「企業の社会的責任」の最たるものは、

従業員の雇用を守るということであり、「子育て支援」をはじめ「ワークライフ・バランス」を守り、「人間らしく働く」ということを保障するということであると考えています。

この点に関しまして、御社は、この不況中はおろか昔から一貫して、いわゆる「首切り」を行わず、育児休暇をはじめ産休その他の労務管理施策において「人間にやさしい」実践を行ってきたと考えております。われわれ労務理論学会は、そのような御社の労務管理の実践のありようを、いかなる経営理念、考えの下に行ってこられたのか大変興味を持っております。ありのままに一つの事例としてお話いただければ幸いに存じます。

労務理論学会第20回大会 実行委員長
龍谷大学経営学部教授 三島倫八

3. 会員総会開催のご案内

総務理事 井上千一 (大阪人間科学大学)

第20回全国大会6月11日(土) 会員総会において本年度の活動報告および来年度の活動方針案、予算案が提出され審議決定されますので、会員の皆さまにはご出席をお願い申し上げます。

4. 中部・北陸部会のご報告

中部・北陸部会から研究会を開催したという報告です。

さる3月20日(土)に中部企業経済研究会との共催で労務理論学会中部北陸部会を中京大学名古屋学舎センタービルにて開催しました。

当日のプログラムは、中京大学の宋 艶苓氏より「トヨタにおける危機への対応」というテーマで特に雇用調整の問題を中心とした報告と、愛知東邦大学の浅野和也氏の「トヨタ生産方式と労働負担」、そして、名城大学の澤田貴之氏による「中国とイン

ドの対外直接投資とクロスボーダーM&A—新興国多国籍企業に関する中間的考察」の報告と各報告に対する討論が行われました。当日は約20名の出席があり、予定時間を超えて活発な議論が行われました。その後、出席者間での懇親を深めました。

また、本研究会のために本学会よりいただきました補助を有効に利用させていただきましたと、謝意が述べられました。

(文責：事務局)



5. 会員入退会動向

※配布の学会ニュースをご覧ください。

6. 労務理論学会誌への投稿論文の募集

学会誌編集委員長 守屋 貴 司

『学会誌』第20号(2011年2月発行予定)に掲載する投稿論文を下記の要領で募集します。会員であれば大会報告者でなくても投稿できます。

投稿を希望する会員は、下記の「**投稿規定**」に従って、労務理論学会誌編集委員長宛て簡易書留で郵送して下さい。

- (1) 論文の種類；研究論文, 研究ノート, 書評, その他
- (2) 提出締切；2010年7月30日締切り

- (3) 送付先；〒525-8577

滋賀県草津市野路東1丁目1-1 立命館大学
経営学部 守屋貴司 宛て

Eメール； t-moriya@ba.ritsumei.ac.jp

- (4) その他；論文は筆者名を厳密に秘匿して審査されるため、投稿者は本文中に執筆者と分かるような記述(氏名など)を避けるように注意して下さい。

投稿を希望される方は、本学会のウェブサイト「**投稿規程**」をどうぞご参照ください。

事務局からのお知らせ

- (1) 今年の全国大会(20回大会)は、例年通り6月の第2週、**6月12日(土)・13日(日)**に開催されます。開催校は龍谷大学です。

- (2) その全国大会の初日夕刻には会員総会があります。多くの会員が参加されますようお願いいたします。

- (3) 大会報告の予稿集は事前送付しません。大会当日の受付で配布する予定です。なお、それまでは学会のホームページにて順次掲載してまいります。

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jalm/n_jalm/09.html

の「会員専用ページ」に掲載されます。このページに入るにはパスワードを入力する必要があります。パスワードは「**1991jalm**」です。この文字を入力し、「パスワード」部分をクリックして下さい。

春のこの時期、会員の移動が多いと思われます。所属や住所変更などがあった会員は次までお知らせ下さい。

学協会サポートセンター

〒231-0023 横浜市中区山下町194-502

Eメール：scs@gakkuyokai.jp

【編集後記】

春真っ盛りという季節にもかかわらず、今年は寒い日があります。このニュースもその気候の影響か、まだ春本番ではないからと発行が遅れてしまいました。ニュース編集の体制もようやく出来たので、次回からは会員の皆様の情報をお待ちしています。次回から紙面を変えてみようかとも。

そう労務理論学会の紙面もチェンジだ！(せ)

